

祖先上村新左衛門

氏ハ越後國長岡上田町(北ノ郷高)神保平兵衛ノ
 六男ニシテ文化十三年丙子正月朔日ニ生ル幼名ヲ
 富吉ト云フ(兄姉五人アリ)文政十一年丙子三月十三日ニ
 シテ同國魚沼郡關驛(雜商)上村伴左衛門方ハ見
 習奉公ニ入ル體格衆ニ勝レ性質律義強直ニシテ
 業務ヲ勉勵シ主人及衆人ノ信用日ニ加リ店員ノ
 模範トナリ自然一店ノ風俗ヲ改良セリ之ニヨリテ
 幾年ナラヌシテ番頭ノ位置ニ上リ堅ク一身ヲ慎ミ
 賣買ノ弊慣ヲ矯正シ追々商業ヲ擴張シテ伴左衛
 門ノ資産ヲ増殖スル事數カラス。



2
(上村家七世伴左衛門ノ相續人平藏若年ニ付金弟新左衛門八世
ヲ經テ平藏ヲ後見ス飯ニテ新左衛門文政十年丁亥十月死亡ニ平藏
ヲ伴左衛門ト改メ) 金藏ニ天保八年丁酉四月氏ニ二十才ニテ
八世新左衛門ノ長女タイニ配偶シテ新左衛門ノ養子
嗣子トナリ同十四年癸卯七月ニ十八才ニテ新左衛門
ト改名シ家屋ヲ新築シテ分家ス然ト雖モ伴左衛門
病身養嗣子定ハ郎若年ナルカ故ニ本家ヲ後見シ
益々商業ヲ盛大ニシ家政ヲ賢固ニシテ上村家ノ信用ヲ
遠近ニ通ス嘉永六年癸丑三十八才ニテ伴左衛門ヨリ
土藏新築資本金百圓田地千束并テ分割スト雖モ本家
ノ資産減スルヲ厭ヒ其半數ヲ受テヘシト堅ク謝絶ス
爰ニ於テ親類ヲ寄數回忠告シテ漸々土藏及山林ヲ削
除シ資本金五拾圓田地七百束ヲ分割ヲ受ケタリ其後

尚本家へ通勤シテ世伴左衛門ヲ補佐シ家政ヲ完全セ
リ氏曾テ云ヘル事アリ曰ノ予一代ハ商業ヲ成サズ予
開店セバ本家ノ花ぬ主吾ニ歸スルニ必キ然レバ本家
ノ繁榮ヲ奪フカ故ナリト果シテ其言ノ如ク用店セス
自分ノ生活ヲ嚴密ニ節減シ然レ共毫モ吝ニ振ラバ毎
日本家ノ内外ヲ見廻リ居宅ノ時ハ野菜畑ノ耕耘家
具家屋ノ修繕雪張等ニ至ル迄人夫ヲ雇ハス自ラ之ヲ
成シ夜半ニ至ル迄勤作ヲ勤メ本家ノ奢侈ヲ同接ニ
身ノ行ヲ以テ誠メ永遠繁榮ヲ謀ル事ヲ自分ノ責任
トス其義心推テ知ルベシ氏吾子ニ訓誡シテ曰ク予兄
弟共皆強酒ナリ共予ハ四十才迄酒ヲ慎ミシニ終下ノ
ナレリ汝等ハ三十才迄酒ヲ慎ムヘシ又曰ク予ハ今日迄

夫婦中間ニテ口論セシ事ナシ和合ハ忍耐ヲ成ルト心得
ベシト他辯ヲ要セバ言行一致實際ノ禁身ヲ以テ戒ム
實ニ配偶五十年間口論セシ事ナク一家和合ナル事ハ
一村模範ナリト衆人ニ賞セラレシ人ナリ又宗教ヲ信
シ老テハ毎朝夕息ヲス佛前ニ向ヒ法華經ヲ讀誦セ
ラレタリ明治二十年丁亥^{新四月十四日}三月五日行年七十一才ニシ
テ眠ルカ如ク逝去セラル遺骨ヲ上野村臨濟宗南興寺
ニ納ム法名白庭禮真居士。
又珍事アリ遺骸ヲ字大塚ニ穴葬セシニ灰中所々ニ
瑠璃色顯レ舍利佛其中ヨリ出現セリ之ヲ見聞
スル人々氏ノ正行潔白ナルガ故ト感賞セリ上村家未
世ノ人々祖先ノ德義ヲ永ク追慕セスニ有サルナリ。

明治三十六年^{癸卯}五月五日十七年回執行ノ節南興
寺へ金五拾圓ノ山林買入寄附スル事ニ致シタルニ當任
職山尾宗暗禪師ヨリ大輝院ノ號ヲ謚シ授與セラル
譯右山林寄附ヲ表更シテ同三十七年六月南方宮
へ呼井戸清水寄附ス

婦人榮美屋湯ト稱スル膏藥ヲ調合シ南興州ニ
行商人ヲ出シテ發賣シ大ニ好評ヲ得セリ
寒キ季節ニ至バ帶折村ヲ經テ劍師ヲ招聘シ
就テ劍術柔術ヲ修得シ大ニ心身ヲ鍛テ計
ラレタリ

祖先上村新左衛門妻タイ子

氏ハ越後國魚沼郡關驛上村家ハ世新左衛門ノ長女
ナリ(妹ハ早世)父ハ舍兄七世伴左衛門ノ嗣子平藏少年
アルガ故ニ上村家ノ八世ヲ継ギ平藏ヲ後見シテ從来ノ業ヲ
繼續シ(難儀多シ)家事ヲ整理シテ一層資産ヲ増殖スルノミ
ナラス公事ノ事ニハ熱心ニ盡クセシ人ナリ惜イカテ文政十年
十月四日タイニオシテ逝去ス此時村底上下共關村ノ片腕
折レタリト嘆息セリト後代迄傳聞セリ其名望ヲ推テ知
ルベシ此際タイ子九才ニ能ク母ニ孝養ヲ盡シ家事
ヲ勤ム天保八年酉四月十九才ニシテ長岡上田町神保
平兵衛ノ大男富吉ヲ贅養子ニ迎ヒ貞操堅固ニ身

ヲ慎ミ老ヲ敬ヒ下人ヲ憐ミ一家ノ和合ヲ計ルヲ以テ任
務トセラレタリ。

(當時家有三夫婦
ニテ三子あり)

天保十四年癸未七月二十五日ニテ家屋
新築シ分家シテ新左衛門ノ家名ヲ起シテ代吾子
ニ語テ曰ク予ハ本家三十余人ノ中ニ居テ只管上下ノ
和合ヲ計リ堅ク忍耐ヲ守リ口論セシ事ナシ汝等忍耐
ヲ守リ他人ニ無理アルトモ三度迄ハ堪忍スヘシ又曰ク
他人ヲ使役スル者ハ必ズ他人ニ使役セラレテ下情ヲ知ル
ヘシト氏ハ慈善ノ心深ク平常一身ノ節儉ヲ嚴ニシ
テ貧困者ニ救助スルヲ樂ミトシ又他人ノ罹災ヲ見テ
ハ身ニ代ヘテ之ヲ救恤セラレタリ惟實至テ溫和ニシテ
一家親類中ノ和合ヲ計リ常ニ宗教ヲ信仰シ毎朝夕

佛前ニ向ヒ讀經シ安心決定セラレタリ。明治十九年

(新十二月廿九日
旧十二月五日)

行年六十八才ニシテ眠ルカ如ク逝去セラリ

遺骨ヲ上野村臨濟宗開興寺ニ納ム。

法名義盛妙孝大姉。

明治三十六年癸丑五月五日十七年回執行ノ節開興寺
ハ金五拾圓ノ山林買入寄附スル事ニシタルニ當任職山尾
宗暗禪師ヨリ續徳院ノ號ヲ贈レタリ。但シ右山林ヲ
表更ニテ三十七年六月南方宮ハ呼井戸清水ヲ寄附ス

[illegible]